

2022 年 2 月 16 日

株式会社東急モールズデベロップメント

川崎市

株式会社東急モールズデベロップメントと川崎市、連携協定を締結**～ 「川崎市中原区の魅力の創造・発信」を促進し、地域活性化へ ～**

株式会社東急モールズデベロップメント（本社所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：秋山 浄司）と川崎市（市長：福田 紀彦）は、2022 年 2 月 15 日（火）、「川崎市中原区の魅力の創造・発信」に関する連携協定を締結しましたこと、お知らせします。東急モールズデベロップメントが川崎市中原区で運営する地域密着型商業施設「武蔵小杉東急スクエア」を活動拠点として取り組みます。

武蔵小杉東急スクエアと川崎市は、同施設が 2013 年に開業して以来、イベントおよび地域情報の発信などにおいて連携・協力を図ってきました。本協定の締結により、武蔵小杉東急スクエアは川崎市とより密接に連携・協力し、年間 1900 万人以上が訪れる同施設にて、「川崎市中原区の魅力の創造・発信」の強化に努めます。今後、地域に関する告知スペースの提供、地域課題の解決を目指すイベント開催などの協働事業を促進、官民相互の人材交流の場づくりなど、連携活動をさらに推進していきます。第一弾として、3 月に武蔵小杉東急スクエアと中原区役所の若手による人材交流会を開催する予定です。

■ 連携協定内容

- (1) 地域の魅力の創造・発信に関する情報交換
- (2) 地域の魅力づくりにつながる協働事業
- (3) 地域の魅力に関する情報発信
- (4) 相互の人材交流
- (5) その他、目的達成に必要なこと



左から)

(株) 東急モールズデベロップメント 武蔵小杉東急スクエア 総支配人 関戸 雄一郎、代表取締役社長 秋山 浄司、川崎市市長 福田 紀彦、川崎市中原区区长 永山 実幸

■ 現場サイドからのコメント

川崎市中原区長 永山実幸（ながやま・みつゆき）

中原区では本地域に立地するさまざまな企業との連携・共創の取り組みが区の魅力の一つと考えています。武蔵小杉東急スクエアさまとはこれまで積み重ねてきた意見交換が地域情報の発信や地域を盛り上げる取り組みに発展してきましたので、本協定をきっかけにさらに双方の強みを生かした連携ができることを楽しみにしております。中原区としては地域が生活の場のみならず、数ある魅力や資源を共有できる場となるよう取り組みを推進してまいります。

株式会社東急モールズデベロップメント

武蔵小杉東急スクエア 総支配人 関戸雄一郎（せきど・ゆういちろう）

武蔵小杉東急スクエアは、お陰さまで今年の4月で開業から9年を迎え、地域の皆さまと共に成長してきました。これまでも川崎市さまとはイベントの実施やエリア情報の発信などにおいて連携させていただいておりました。本協定を契機として、さらなるパートナーシップを深め、地域課題の解決や地域発展に積極的に貢献してまいります。商業施設としてのお買い物やお食事の場といった機能に留まらず、地域のハブとして中原区の魅力を引き出し、街の価値向上に尽力してまいります。

■ これまでの両者の主な取り組み

武蔵小杉東急スクエアと川崎市は連携し、地域活性化や地域課題解決に向けた取り組みを実施。主なこれまでの取り組みは以下となります。

- ◇ 小学生を対象に「わたしたちが暮らす未来の武蔵小杉」をテーマとした「おえかきコンテスト」（2021年夏に実施）
- ◇ “地域を一緒にキレイに”を目的とした清掃活動「コスギタウンクリーニング」を年4回開催。武蔵小杉駅周辺企業20社、最大100人におよぶ方が参加しています。
- ◇ 川崎市と民間企業の数社が取り組む「eco-wa-ring Kawasaki（エコワリング川崎）」に武蔵小杉東急スクエアが場所を提供。自活型フードサイクルの取り組みで、家庭から排出された生ごみからつくられた堆肥を活用して、参加者が同施設の展望デッキで野菜づくりを行いました。（2021年7月～2022年1月）



コスギタウンクリーニング



eco-wa-ring Kawasaki

武蔵小杉東急スクエア 施設概要について

名称： 武蔵小杉東急スクエア

所在地： 〒211-8619 神奈川県川崎市中原区小杉町 3-472

開業日： 2013 年 4 月 2 日

営業面積： 11,000 m²

テナント数： 66

アクセス： 東急東横線・目黒線 武蔵小杉駅直結

営業時間： ショップ：10:00～21:00 レストラン：11:00～23:00
※一部店舗により営業時間が異なります。
※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、営業時間が異なる場合がございます。

URL： www.kosugi-square.com



株式会社東急モールズデベロップメントについて

株式会社東急モールズデベロップメントは商業施設（ショッピングセンター）の運営会社で、東急グループの一員。東急線沿線を中心に、駅直結もしくは駅前などの好立地において、駅利用者や地域にお住まいの方々のさまざまなライフスタイルに合わせた店舗ならびにサービスを提案し、地域密着型の商業施設を展開。主な運営施設は、「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」「たまプラーザ テラス」「港北 TOKYU S.C.」、「武蔵小杉東急スクエア」などの“東急スクエア”ブランド、東急線駅構内・駅近隣に展開する商業施設ブランド「etomo（エトモ）」など。2019 年 11 月に開業した「グランベリーパーク」の運営業務を東急株式会社から受託し、現在、30 のさまざまな形態の商業施設を運営。